

2025年度学会賞・学会奨励賞候補論文一覧

【推薦時のお願い】

- ①学会賞及び学会奨励賞のそれぞれの候補として推薦できるのは、論文又は著書のいずれか一篇のみとなります。
- ②学会賞候補論文の推薦について・・・下記リストに記載されている論文すべてが対象となります(1篇のみ)。
- ③学会奨励賞候補論文の推薦について・・・下記リストの中で○が付いている論文のみ対象となります(1篇のみ)。

No.	奨	筆頭著者名	論文標題	原稿種別	ページ	掲載誌
1		武田 理	運動・スポーツ時における女性特有の乳房に関する傷害とその防止に関する文献レビュー:乳房の傷害とスポーツブラの着用に焦点をあてて	総説	97-108	体育学研究 第69巻
2		笠間 秀一	スコーピングレビューにおけるアスリートのCOVID-19アウトブレイク発生要因の検討	総説	151-168	
3		朝倉 雅史	「スポーツと幸福」に関する国際的な研究動向	総説	329-350	
4		坂本 将基	剣道の有効打突の判断における競技者の視線行動の特徴	原著論文	1-16	
5		山下 龍一郎	世界トップレベル選手の後方車輪に関する発生運動学的一考察	原著論文	17-32	
6		奈良 光晴	ガバナンス論から見た日本スポーツ協会の自律性と自立性に関する研究	原著論文	41-57	
7	○	大坪 健太	多角的分析から見る小学生の体力と学力の関係性および影響を与える習慣	原著論文	59-72	
8	○	高橋 直己	国際競歩審判員におけるロス・オブ・コンタクト判定	原著論文	89-96	
9		西田 順一	大学体育授業にて学修成果を高めるための条件:学修者特性および学修・教授行動を要因とした決定木分析による検討	原著論文	109-124	
10	○	泉 彩夏	若手の保健体育科教師における性に関する指導に対する困難さ:M-GTAを用いた分析	原著論文	125-137	
11		山本 浩二	中学校体育におけるフィードバックの認知と学習成果の因果関係の推定:多母集団同時分析を用いた性差の検討	原著論文	169-185	
12		松倉 啓太	エリートサッカーゴールキーパーにおける異なる被シュートシチュエーションに対するダイビング動作の特性	原著論文	213-227	
13	○	村井 梨沙子	小学校体育授業におけるPACERの有効性に関する検討:中学年のマット運動単元における社会的スキルと動きの質に着目して	原著論文	229-248	
14	○	相馬 満利	3次元相同モデルを用いた日本代表を含む男子体操競技選手の体幹部における「かたち」の定量化	原著論文	249-261	
15	○	村富 浩太郎	力学的エネルギー利用の有効性と400m走パフォーマンスとの関係	原著論文	267-284	
16	○	大木 祥太	短時間高強度運動がその後の持久性トレーニング中の脂質酸化量に及ぼす影響	原著論文	285-297	
17		林田 敏裕	運動部活動の地域移行に対する保護者の態度に影響する要因:社会経済的地位に着目して	原著論文	299-315	
18		實宝 希祥	東京2020(+1)大会代表・代表候補選手の心理的競技力:東京2020大会延期前後、メダル獲得の有無、オリンピック過去大会との比較	原著論文	317-327	
19	○	中野 大希	運動実践における痛みの経験再考:知覚世界の変容に関する現象学的考察を通して	原著論文	351-367	
20		東原文郎	学生アスリートの競技への取組方は人気企業からの内定獲得に影響するか?	原著論文	389-406	
21	○	浅野 佑樹	体操競技ゆかのロンダートの回転運動における角運動量生成メカニズム	原著論文	445-462	
22	○	西原 優輝	技能習得に向けた教師の工夫された言葉かけの有効性に関する検討:高等学校の介入実験授業を通して	原著論文	463-480	
23		小野 雄大	日本における大学のスポーツ推薦入学試験制度の現代的展開:制度の拡大過程と2023年度入試の実態に着目して	原著論文	481-500	
24	○	渡部 颯斗	インベージョンゲームにおける「攻撃」と「防御」の再検討	原著論文	515-534	
25		田中 輝海	バーンアウトの発症プロセスにおける各競技状態に対するソーシャルサポートの影響:コーピング方略を媒介変数として	原著論文	550-563	
26	○	田井 楓	女性活躍社会の牽引を目指す日本サッカー界の取り組みに関する研究:WEリーグにおける女性コーチの登用に着目して	原著論文	583-600	
27	○	竹中 美帆	卓越した剣道女子選手が獲得した得意技に関する実践知:戦術行為に着目して	実践研究	139-149	
28	○	安永 太地	志向原理に基づくスポーツ・インテグリティ教材の開発と評価:ユース年代のサッカー選手を対象として	実践研究	535-549	
29		亀田 麻依	異なる測定環境が立幅跳の跳躍距離に及ぼす影響	研究資料	33-39	
30		黒川 隆志	小学校高学年児童の持久走における3種類の指導方法の比較	研究資料	73-88	
31	○	安田 純輝	小学校体育科の水泳運動における第3学年児童を対象とした伸び習熟のための等質ペア学習を適用した学習指導方略の実践	研究資料	369-387	
32	○	小原 侑己	高等専門学校の学生が考える体育授業の意義とは何か?:1校の事例の検討を通して	研究資料	565-582	
33	○	井上 咲子	大学生のロコモティブシンドローム予防を目的とした体操に関する研究:靴下を用いた体操の介入を通して	研究資料	601-616	
34	○	近藤 雄大	1970年代「性と人間の生き方」に関する教科横断的保健授業の構想と実践の一事例:東京都立農産高等学校の「家庭科保健」を対象として	事例報告	199-212	
35		久保 賢太郎	ALACTモデルを活用した教育実習生の「本質的な諸相への気づき」に関する研究	事例報告	407-422	
36		大西 祐司	小学校体育におけるテニス授業の困り感とその解決に向けたケース・スタディ	事例報告	423-444	
37		Akinori Nagano	A Method of Three-Dimensional Videography using Omnidirectional Cameras with Control Points of Unknown Coordinates	Brief Report	1-4	IJSHS Volume 22 (2024)
38	○	Tatsuki Morita	A Study of Coaching Concepts among Kokoyakyu (Japanese High School Baseball) Coaches	Paper	5-14	
39		Kenji Hosokawa	Scoping Review of Martial Arts Intervention Studies for Autism Spectrum Disorders	Review	15-24	
40		Susumu Kadooka	Effects of Burnout Tendencies on Cortisol Awakening Response in Athletes	Paper	25-33	
41		Koichi Kawabata	Kinematic Analysis of the Head and Trunk Movements of Quadriplegic Wheelchair Athletes in the Initial Acceleration Phase of the 100-m Sprint: A Case Study	Case Study	34-41	
42	○	Jun Matsuzaki	Effectiveness of Legacy Network Governance through Pre-event Legacy Planning: The World Masters Games 2021 Kansai	Paper	42-52	
43		Takashi Shimizu	Flywheel Resistance Training Improves Jump Performance in Athletes and Non-Athletes: A Systematic Review and Meta-analysis	Review	61-75	
44	○	Kazuki Ota	Three-Dimensional Kinematic and Kinetic behavior of the Pelvic Rotation in Mini-Hurdle Sprint: Comparisons to Normal Sprint	Paper	76-85	
45		Kenji Hosokawa	Scoping Review of Swimming and Aquatic Exercise Intervention Studies for Autism Spectrum Disorder and Attention Deficit/Hyperactivity Disorder	Review	86-96	
46	○	Mikito Hikosaka	Novel Evaluation Tool for Wheelchair Racing Performance: Precise Adjustment of the Wheel Axle and Torque Measurement during Wheelchair Propulsion	Case Study	123-129	
47		Ryo Ogaki	Longitudinal Injury Surveillance Study over Seven Seasons in Japanese Collegiate Rugby Union	Paper	140-148	
48	○	Takuya Shimokubo	Examining the association between exercise habits in older adults and trajectory patterns of physical activity: Analysis of gender perspectives	Paper	158-169	
49		Hayato Yamamoto	A Comparison of Running Performance of Elite Female Rugby Union Players Using A Global Navigation Satellite System	Paper	170-177	